

# 新たなシステミック・リスクの登場

規制当局がオペレーショナル・レジリエンスを重視する理由と、それが企業に与える影響



## 未来はクラウドにある

10年後までには、金融サービスのあらゆるビジネスクリティカルなサービスがクラウドによって支えられていると考えられます。

### クラウド投資

67%

クラウドサービスプロバイダー  
上位3社の市場占有率<sup>1</sup>

850  
億ドル

2025年までのクラウド投資額は  
2021年の2倍と予測



## 残念ながら、停電は避けられません

一部の人にインフラストラクチャが集中すると、システム全体が脆弱になります。

8 JUNE 2021, 09:47 UTC

## 大規模なインターネットの停止の発生

09:46 • ..... • 17:25

1つの業務がきっかけで発生したバグ  
バグ修正の展開

7時間39分

総ダウンタイム

### 影響

- 数千のウェブサイトに影響
- 複数の国にまたがる影響
- 天文学的な収益の損失



## 規制当局は次のように行動でき、行動する

より重要なサービスがクラウドに移行するにつれて、規制当局は懸念を抱いています。

多くの企業が同じ少数のプロバイダーに依存しており、これらの企業は停止によって金融システム全体に損害を与えることはできません。

### 規制当局が避けたいこと：

- 企業はいくつかのクラウドサービスプロバイダーに過度に依存するようになっている
- 多くの機関が特定の事業分野で同じプロバイダーに依存するようになってきている

### 注目すべき展開：

- ・ ストレスのある出口
- ・ 代替性と集中リスク
- ・ デジタル運用レジリエンス法 (DORA)
- ・ サードパーティのリスク管理 (TPRM)
- ・ 欧州クラウドユーザー連合 (ECUC)
- ・ アウトソーシングに関する EBA と BoE のガイドライン
- ・ GDPR
- ・ Schrems II



## 規制に先んじるために、組織に必要なことは次のとおりです。

広がる選択肢。  
もっと俊敏に。  
より多くの自由。

## Teradata がお手伝いします。

Teradata は、コネクテッドマルチクラウドデータプラットフォーム企業です。Teradata のエンタープライズ・アナリティクスは、ビジネスのあらゆる課題を解決します。現在の、そして将来の大規模な混合データワークロードを処理できる柔軟性を提供しているのは、Teradata だけです。

詳しくは、Teradata.jp をご覧ください。

<sup>1</sup> Synergy Research Group, 2021  
<sup>2</sup> IDC, 2021